



しじゅうから

福島市小鳥の森通信 2014年2月号 No.342

小鳥の森で観察してみよう 31

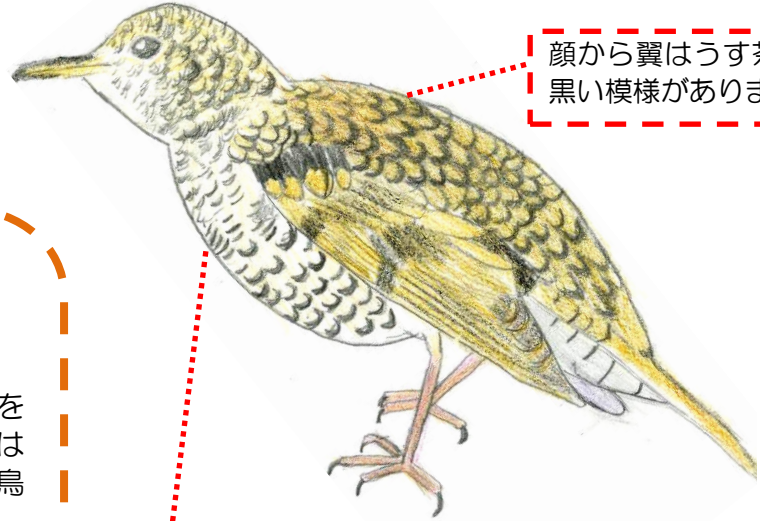
トラツグミ

分類：ヒタキ科

大きさ：約 29.5cm

生態：林を好みます。地面で落ち葉をめぐり、昆虫を探します。冬は木の実なども食べる雑食の野鳥です。

小鳥の森での観察：
棚田や自由広場周辺の地面で観察することがあります。



顔から翼はうす茶色と黒い模様があります。

胸からお腹にかけて黒い模様があります。

大泉 龍太郎

今回の絵はおおいずみりゅうたろうさんが描いてくれました。

2月の自然予報

2月4日は二十四節気で立春(りっしゅん)にあたり、春の始まりの日です。

この時期には、早春の植物であるフキノトウを見かけるかもしれません。日当たりの良い場所を好み、ネイチャーセンター周辺でも毎年見かけています。

まだ寒い時期ではありますが、森を歩いてみると、早春の訪れを見つかることができるかもしれません。



フキノトウ

夕方うす暗くなる頃から、森の中から「グルルル」や「ゴロツクゴッホ」などと奇妙な声が聞こえてくるかもしれません。

「グルルル」という鳴き声は、冬眠をせずに夜に活動しているムササビです。夏は葉や芽、木の実などを食べますが、冬は主に木の芽や実を食べます。

また「ゴロツクゴッホ」と鳴くのはフクロウです。夜行性で、2月頃は卵を産む時期です。昨年は小鳥の森で子育てが上手くいき、春にヒナを見ることができました。今年も子育てをしてくれたらいいなと思います。

こうした夜に活動する生き物を見ることは難しいことです。しかし耳を澄ましてみると、冬に活動している生き物の鳴き声を聞くことができるかもしれません。



ムササビ



フクロウ

1月の自然

1/13、14に自由広場で冬に珍しいアオバトを見ることができました。2日間で姿は見られなくなりました。

本来だと夏にやってくる野鳥で、冬は南の地域で越冬するのですが、迷ってきたのでしょうか。アオバトは、広場に沢山実っているピラカンサの実を食べたり、周辺の木で休んだりしていました。



アオバト

小径沿いに盛り上がった土がありました。「モグラ塚（つか）」です。モグラは脂肪がないので、食べ続けなくては生きていけません。冬でもエサとなるミミズや昆虫をとるためにわなとなるトンネルを掘ります。その時地表に出された土が「モグラ塚」となるのです。

今年の冬は雪が少ないので、簡単にいくつも見つけられ、地面の下の生活にふれたように感じました。



モグラの塚（つか）

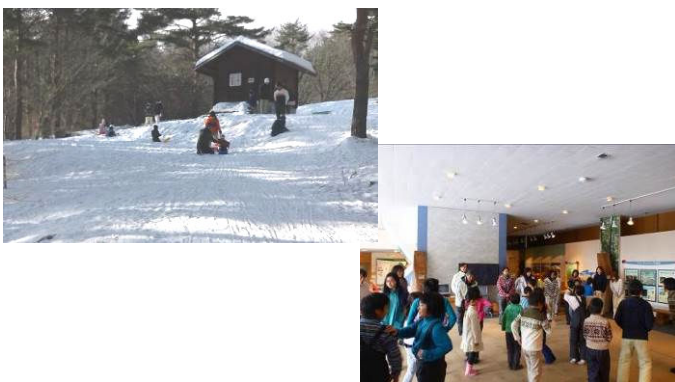
お山の大将あつまれ報告

1月18日、19日に会場をフォレストパークあたりに移し開催しました。

1日目は、そりで滑ったり、雪合戦をしたりして野外で遊びました。子供たちは寒さに負けず、時間が経つのも忘れて思いっきり遊んでいました。

2日目はチャウス自然体験学校の加藤さんと小山田さんを講師に招き、室内で体を使った色々なゲーム体験を行いました。チーム対抗で競ったり、みんなで協力しあったりしながら楽しい時間を過ごしました。

一泊二日の短い日程でしたが、みんな楽しんでいました。



双眼鏡の使い方を覚えよう

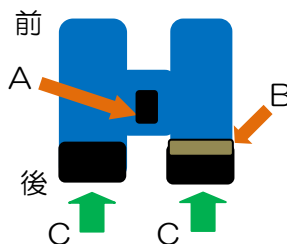
生き物に近づきすぎると驚かすことがあります。双眼鏡があると、驚かさずに見ることができます。今回は双眼鏡をマスターしましょう。

①ひとつの円にしよう



双眼鏡をのぞいて、左右で見える円を1つになるように目の幅をあわせませす（②のCから見ます）

②ピントを合わせよう



Aの調節で左目を使って全体のピントを、次にBの調節で右目のピントを合わせませす。（Bが左にある場合があります。）

これで準備は完了です。

まず肉眼で見たい物を見ます。次に視線を動かさないうで、目に双眼鏡をそえると対象がとらえやすくなります。

※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。また市内の学校や様々な団体向けに出前講座も実施しています。詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

*小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時
《入場無料》 休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel: 024-531-8411 fax: 024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・ <http://www.f.kotorinomori.org/> ←アドレスが変更になりました

小鳥の森通信[しじゅうから] 2014年2月号No.342/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま